

いばらき柔道整復師会ニュース



平成29年

6/30(金)

Vol.58

役員改選で竹藤敏夫氏が新会長、市川善章氏は名誉会長に就任

平成29年度(公社)茨城県柔道整復師会定時総会、茨城県柔道整復師協同組合通常総会、

日本赤十字社茨城県支部柔道整復師会奉仕団定例総会を開く

公益社団法人茨城県柔道整復師会(市川善章会長)の定時総会、茨城県柔道整復師協同組合(鮎川秋雄理事長)の通常総会と日本赤十字社茨城県支部柔道整復師会奉仕団(荒井健吉委員長)の定例総会が5月21日、水戸市の茨城県開発公社ビルで開催されました。(会員数366名、出席91名、書面参加131名、委任状107名で定員数を満たしているため成立)



功績を称えられ名誉会長に就く市川善章氏

【公益社団法人茨城県柔道整復師会定時総会】

公益社団法人の定時総会は、一ツ柳明副会長の開会の辞で始まり、続いて挨拶に立った市川会長は「皆様におかれましては、何かとご多忙のところ本総会にご出席を賜り誠にありがとうございます。また、日ごろから、本会の事業活動・事業運営に多大なるご理解ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。お陰さまで平成28年度の本会の事業も滞りなく終了することが出来ました。重ねてお礼を申し上げます。皆さまもご承知のように、本会の活動状況については茨城県など行政機関から、総じて明瞭性、透明性が高

い水準で確保され、適切な取り組みが評価されているところです。これからもこの水準を維持していくため、常に大局的見地に立って適切な判断を迅速に行うことが最も重要であると確信しております。我々、柔道整復師を取りまく環境は、国が進める医療費適正化対策などにより厳しいものがあります。そこで会員の皆様のなお一層の協力が必要です。今後ともよろしくお願いいたします。最後に、私ごとで恐縮ですが、皆様に支えられ28年という長きに亘り務めさせていただいた役員職を、今回、辞することといたしました。」と本会の現状と勇退について述べました。

続いて審議に入り28年度事業報告が行われ満場一致で承認されました。ほかには同年度収支決算及び財産目録並びに監査報告。同年度関東ブロック会通常総会の議題に対する議決権の一括委任についての審議が行われいずれも満場一致で採択されました。

また、本年度は役員改選の年にあたることから、理事と監事の立候補者の選任投票が行われ全員が信任を受けました。その後、緊急理事会が開催され、



就任挨拶をする竹藤敏夫新会長。会員の協力を求める

竹藤敏夫会長、一ツ柳明、眞中進両副会長が選定されました。竹藤敏夫会長は「このような大役を仰せつかるには、誠に微力ではございますが、一ツ柳、眞中両副会長と力を合わせ、先輩各位、並びに会員の皆様のご助言、ご協力を仰ぎ業務をまい進してゆく決意でございます。また、本会役員を28年間の長きにわたりお務めいただき本会の発展に功労されました市川前会長には“名誉会長”に就任していただく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。」と、就任の挨拶を述べました。

【茨城県柔道整復師協同組合通常総会】

その後、茨城県柔道整復師協同組合（鮎川秋雄理事長）の平成29年度通常総会が開催され、最初に鮎川理事長が、「当組合は当初の趣旨である“相互扶助の精神”に基づき、組合員のための諸事業に取り組んでおり、それらの成果が顕著に表れ累積赤字が解消できました。これからも出来る限り衛生材料などの購入にあたっては当組合を利用していただき、組合員一人ひとりが運営に参加してくださいようお願いいたします。」と挨拶しました。また、執行部より28年度事業報告、29年度事業計画など、上程された5議案はすべて満場一致で可決されました。また、任期満了に伴う役員改選では新役員が選任されました。



組合員一人ひとりの運営参加を
と挨拶する鮎川理事長

【日本赤十字社茨城県支部柔道整復師会奉仕団定例総会】

平成29年度日本赤十字社茨城県支部柔道整復師会奉仕団定例総会（荒井健吉委員長）は、平成28年度事業報告として、常備救護班等災害救護訓練への団員の派遣、基礎研修会の開催などの報告が行われました。上程された平成28年度事業報告、29年度事業計画の議案については満場一致で承認されました。荒井健吉委員長は、「九州地方で大きな地震があった際、災害救護が注目されました。そのよう



奉仕団基礎研修会、災害救護訓練
に参加を呼びかける荒井委員長

な観点から今後とも日本赤十字奉仕団基礎研修会や災害救護訓練などに参加協力をお願いします。」と挨拶しました。

【役員就任挨拶】



会長 竹藤 敏夫

先の定時総会の役員改選において、会員の皆様方の信任を得て会長に就任いたしました。これもひとえに、皆様方の温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げる次第であります。ご案内のとおり、我々柔道整復師を取巻く環境は、加速する少子高齢化という人口構造の変化と国が進める医療費適正化対策等により患者数が減少するなど、大変厳しい経営状況にあります。このような中、日整においては療養費をめぐる諸問題を、国の「柔道整復療養費検討専門委員会」において、将来の業界の在り方などを視野に、活発な議論が行われているところであります。よって、これらの動向を十分に注視すると共に、関係機関等への対応を積極的に実行していかねばならないと考えております。そして、会員の皆様方のご期待に添えるよう鋭意努力いたしますので、何とぞ一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副会長 一ツ柳 明

この度の役員改選におきまして、4期目の副会長として選任いただきまして誠にありがとうございます。また、市川先生の会長勇退に伴い、竹藤敏夫新会長が選任され、新しい組織体制が構築されました。ここに市川前会長の永きに亘る会務の遂行、私を含めて会員の皆様へのご指導の数々に感謝の意を表したいと思っております。これからも、竹藤新会長を補佐し、本会発展、会員の皆様との対話による信頼関係の更なる充実、組織の透明化に引き続き努力したいと思っております。今後とも、ご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。



副会長・総務部長 眞中 進

挨拶に先立ちまして、28年という永きにわたり本会理事そして会長という重責を全うされ、会の屋台骨を支えてくださいました市川善章前会長に心より敬意を表するとともに深く感謝申し上げます。

さて、この度の役員改選におきまして、副会長として信任賜りましたこと深く感謝するとともに心よりお礼申し上げます。また、同時に3期目の総務部長を拝命いたしました。副会長と総務部長の兼任という大役を担うこととなりましたのは、大変光栄でありますとともに身の引き締まる思いでいっぱいです。

これまでの4年間、総務部長として会員の皆様方の活動を様々な形で補佐、支援することにより、その

活動が効率よく取り計られるよう、会全体の運営管理を行って参りました。お陰様で、多くのことを学ぶことができました。今後は、これまでの経験を活かし、本会の発展向上のため継承と革新に取り組んで参りたいと思います。そして、竹藤新会長の指針に沿って会長を補佐し会員一人一人のためにも、会長と理事執行部と会員それぞれのパイプ役となりご意見ご提案に耳を傾け、その声を会運営に活かしつつ更に広い視野をもって職務に邁進していく所存でございます。

今後とも、皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



経理部長 鮎川 秋雄

役員改選後の理事会に於きまして、新会長になられました竹藤敏夫会長より中村文男経理副部長と共に引き続き経理部を担当するよう任命されました。定時総会の収支決算報告でも申し上げました通り、平成28年度の決算額が収入支出共に前年度と比べて減少しております。29年度の予算額も各種事業のより一層の効率化を図ることを前提に全体で約3%減額した予算となっております。会員の皆様のご理解・ご協力を賜りながら職務を邁進する覚悟でございますので、よろしくお願い申し上げます。



保険部長 谷中 照男

竹藤敏夫新会長体制の下、引き続き保険部長の大役を拝命いたしました。改めて身の引き締まる思いです。さて近年、保険請求業務をはじめ、柔道整復師に対する風当たりは大変厳しいものがあります。柔道整復師の増加、質の低下が最大要因となっております。公益社団においては、保険講習会、勉強会、新入会員指導など柔道整復師の質の向上に努めておりますが、本会以外の個人開業者との、さらなる差別化を図らなくてはなりません。この難局を乗り越えるべく、各位のさらなるご理解とご協力をお願いいたします。



学術部長 鈴木 正嘉

この度の改選により、竹藤会長より引き続き学術部長に任命されました。微力ながら本会の運営に協力し、学術部として少しでも会員の皆様の仕事の向上に繋がるような内容の研究発表を、発表者と協力して作成できるように努力してまいりますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。また、昨年度の関東学術大会埼玉県大会には、多くの

会員の方が出席してくださり、お陰さまで終始、盛り上がった学術大会が出来ました事を心よりお礼申し上げます。



広報部長 黒澤 玄

この度の役員改選により、竹藤会長より広報部長を任命され、広報という重大な責務に責任を感じる思いです。本会及び会員の活動、イベントなど地域の出来事やローカルニュースを発信していきたいと思っております。より良い広報誌と広報活動に全力で本会の発展に努力邁進してまいりたいと思っております。何卒皆様のご支援とご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



事業部長 荒井 健吉

今期より事業部長を務めさせていただくことになりました。事業部は様々な大会救護活動を通し、県民の皆様が安心してスポーツを楽しめるよう貢献する事業。また柔道大会を開催し将来を担う青少年の健全育成に貢献する事業等、公益活動が主な事業となっておりますが、会員各位の協力なくして目的の達成はありえません。皆様の力の結集が組織力となり、その力をより良い方向に導くことにより、更に本会が社会において「価値ある存在になる」と確信しております。今後も会員の皆様には本会事業(社会貢献活動)にご尽力をいただくこととなりますが、ご理解とご協力を切にお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



介護部長 荘司 智也

この度の役員改選におきまして、介護部長に任命され、その責務の重大さに身の引き締まる思いであります。すでにマスコミ等でご存知の通り、介護業界も大きな転換期を迎え、各市町村において地域包括ケアシステムの準備が進み、日常生活支援総合事業が各地で展開されはじめました。

私たち柔道整復師も専門職の特性を活かし、この機会に多くの会員の先生方に、この地域包括ケアシステムに参入し、業務の幅を広げていただきたいと願っております。

微力ながら今まで経験してきたことに、皆様方の知恵やご指導を仰ぎながら活動していきたいと考えておりますので、何卒よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

平成28年度投球障害調査報告

学術部投球障害調査班 箱守志農夫

【投球障害調査8年目を終える】

平成21年より開始した、我々学術部投球障害調査チームによる投球障害調査は8年目を終了しました。昨年末には筑波大、水戸赤十字病院、水戸協同病院の医師、理学療法士、トレーナーとの活動報告会も開かれ今後の活動にも一層の期待がもたれます。

【平成28年度投球障害調査報告】

平成28年度の期間に少年野球チーム、中学生野球部、硬式野球クラブチーム等の16チーム、8歳~15歳合計269名の調査を行った。肘外側の上腕骨小頭に不整像を抽出したのは7名で発生率は2.6%、肘内側部の上腕骨内側上顆（内側靱帯付着部）に左右差を認めたのは197名で発生率は73.2%であった。

上腕骨小頭（肘関節外側）の左右差は、28年度において27年度、26年度、25年度の過去3年間と比較すると、それぞれ2.6%、2.4%、2.2%、2.4%と横ばいの発生率だった。

上腕骨小頭（肘関節外側）の左右差は原因が確定しておらず、また野球選手とも限定されず、11歳前後の児童に発症する。発症後投げる動作によって小頭の軟骨部が剥がれ骨より離れてしまう為、痛みや肘関節の動きが制限される。初期であれば早期の復帰が可能であり、我々が介入後に手術に至る例は極めて少なくなっている。

上腕骨内側上顆（靱帯付着部）に左右差有りは、28年度において同過去3年間と比較するとそれぞれ73.2%、67.2%、56.8%、61.0%と年々増加傾向にある。年齢別発生率の表を参考にすると、年齢と共に発生率が上昇している。これらを勘案すると、学童期の指導の仕方も予防の一つと考えられる。

※「上腕骨内側上顆（靱帯付着部）左右差有り」の年齢別発生率

年 齢	7	8	9	10	11	12	13	14	15
調査数	0	4	9	12	8	60	99	67	10
左右差	0	0	4	6	5	43	79	52	8
発生率	0%	0%	44.4%	50.0%	62.5%	71.7%	79.8%	77.6%	80.0%



投球障害調査をする会員

関東学術大会発表を終えて



新井会員は「貴重な経験となった」と話している

水戸支部 新井俊行

去る3月12日、公益社団法人日本柔道整復師会 第39回関東学術大会埼玉大会において研究発表を無事終了することができました。開催地のさいたま市大宮区は私の研修生時代後半、6年間勤務した思い出の地であり巡り合わせの縁を感じております。

前日のリハーサルに始まり、開会式へも参加させていただきました。他県の発表者や多数の先生方との親睦、交流を図るとともに情報交換をおこなったり、翌日の発表内容についての質問を受けたりと、普段とは違う貴重な経験となりました。

発表当日は適度な緊張感の中、徐々に時が進み、発表時は想像よりも冷静に臨むことが出来ほっとしております。今回、「柔道整復術における古典的施術法」～橈骨遠位端骨折の固定法より～という題目で、柔道整復師本来の技術について発表をさせていただいたように、私は柔道整復術とは素晴らしい技術であると確信しています。これからも進歩発展に努めながら、患者様により貢献できるよう誠心誠意向かい合う所存です。

最後になりますが、市川会長をはじめ執行部の先生方、また発表者に推薦してくださった柏水戸支部長、更には発表に際し多岐なるアドバイスをいただいた鈴木学術部長他、沢山の皆様にお力添えをいただいたことに心から感謝申し上げ、第39回関東学術大会埼玉大会の報告といたします。本当にありがとうございました。

私の格言・杖言葉

県西支部長 眞中 進

「忍一時」風平浪静
「退一步」海闊天空

私が若く血気盛んな頃、ある方からいただいた掛軸に記してあった格言です。

「一時を耐え忍べば騒動は収まり平穏になる。一步下がれば広い範囲が見渡せ道が開き物事が解決する。」

還暦を過ぎた今でも、諸事に対する時、私の心構えとなっています。

株式会社エス・エス・ビー 超音波画像観察装置セミナー開催

株式会社エス・エス・ビー
営業部 山田猛

平成29年2月12日(日)つくば国際会議場において公益社団法人茨城県柔道整復師会にご協賛いただき日本超音波骨軟組織学会山田直樹会長をお迎えして超音波画像観察装置セミナーを開催しました。

弊社が超音波画像観察装置(以下、エコー)の販売を開始して24年の月日が経ちました。販売当初は主に『骨』を中心に観察することがほとんどで使用頻度も限られていましたが、デジタルエコーの登場で飛躍的に解像度が上がり、骨がより鮮明になり、さらに軟部組織(筋膜、腱、靱帯)の細かい描出が可能となりました。

デジタル化に伴い、エコー本体の小型化も進み、現在では往診やスポーツ現場での救護、ケガ予防に多くの先生方が活用されています。

近年は、カラードプラ機能搭載エコーを用い、毛細血管の拍動や新生血管を描出し、ケガの炎症程度や修復過程を観察するのに有効とされています。

エコーの利点はリアルタイムで健側、患側の比較や内、外旋しながらの動的観察をすることができます。また、画像(静止画、動画)を保存することによって、治療過程の経過観察ができることで、患者さんやそのご家族へのインフォームドコンセントに役立っていると多くの声をいただいております。

現在、弊社では国内主要メーカーを取扱い、充実したラインナップとなっております。

なお、東京都千代田区の水道橋に「東京ショールーム・超音波研修センター」を開設いたしました。取り扱いがある超音波診断装置を実際に使用していただくことが可能で、超音波研修センターでは定期的な超音波セミナーを開催しております。是非ご利用ください。

水戸支部ゴルフを開催

水戸支部 藤田博美

4月23日(日)霞ヶ浦カントリー倶楽部にて、水戸赤十字病院副院長上牧裕先生、市川善章会長、竹藤敏夫副会長、谷中照男保険部長をゲストに迎え盛会に開催されました。

当日は、スタートは好調だったものの6ホール目から乱れ後半もかなりの乱調でしたが、隠しホールが発表されると叩いたホールが全てはまり、奇跡的に優勝することができました。これもパートナーに恵まれて楽しくラウンドできたのがこの結果につながったと思います。竹藤先生、早川先生ありがとうございました。



優勝した藤田博美会員

会員になって想う!

県南支部 廣瀬亮介



文京接骨院の廣瀬亮介と申します。土浦市文京町で開院して6年目になります。町内の方々に気軽に足を運んで欲しいとの思いからこの院名にしました。悩みを持ち来院する方々と同じ目線に立ち、いたわりの気持ちで接しようという心掛けで仕事をしてきました。そして、昨年の7月に入会させて頂く事になりました。同じ柔道整復師の方々との交流を通じて悩みを相談する事も出来て、とても心強く感じています。

急激に変化していく社会状況の中、柔道整復師に対する要望も益々多様化してきております。それに応えるには、更なる知識と施術の向上、会員同士の情報交換が必要であり、その点でも入会の期待には大きいものがあります。

柔道整復師の特殊性を踏まえた上での良質な施術の提供、住民の健康増進のために貢献している柔道整復師会に、微力ながら力を添えたいと願っております。

柔道整復師の特殊性を踏まえた上での良質な施術の提供、住民の健康増進のために貢献している柔道整復師会に、微力ながら力を添えたいと願っております。



錦鯉飼育&観賞

荒井健吉 (県西支部)



私は常々、身体を動かす動的趣味と、思考や感性を養う静的趣味を共に持ち、心と身体の調和を図り、人生を楽しく澁澁と送るよう心掛けています。日々変化する生活の中で、ストレスを解消し心身の安定に繋がっているのが、泳ぐ宝石

錦鯉の飼育&観賞です。

金色に輝く錦鯉(黄金)に魅せられ30年、途中挫折中断の時期もありましたが、今でも夢中になって楽しんでいます。

毎日手を掛け飼育する楽しみ。春と秋には新潟県の小千谷・山古志地方や山梨県の甲府方面に錦鯉を買いに行く楽しみ。そして品評会に出品し入賞したり、仲間と鯉談義を楽しんだりと楽しみは沢山ありますが、なんといってもマイ錦鯉ハウスでお茶を飲んだり、食事をしたり。時には錦鯉をライトアップして、悠々と泳ぐ姿を眺めながら晩酌をしたりする時間が、憩いのひと時、明日への活力となっています。

かすみがうらマラソン救護

県南支部 渡辺昇平

平成29年4月16日(日)第27回かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン2017が、23,731人という多くのランナーが全国各地から参加し盛大に開催されました。本会からは、救護班として八木下雅道、新井誠一、出沼秀樹、高野俊瑞、篠崎則男、八重柏佳祐、山田通章、和地勲、竹藤憲司、廣瀬亮介、坂本道彦、渡辺昇平、原井佳野、高橋康敏、倉田裕貴、山本温菜の会員16名が参加し22.5km・32.5km・35km地点に拠点を構え各会員の持っているスキルや知識でランナーの補助、救護活動を行いました。

大会当日の天候は晴れ気温は4月とは思えない17.9℃という暑さでランナーの方達には過酷な状況だったと思います。走行中のアクシデントによるケガはもとより、熱中症への対策・対応・処置が増えるであろうという心配と共に大会はスタートしました。5キロ・10マイル・フルマラソン・車いすの部とあり、先ずは5キロを走る人たちが通過したもののこの暑さのせい早くも汗を大量にかき水分補給を求めている様子でした。その後も10マイル・フルマラソンと続くも、我々救護班の心配は的中したのか熱中症や脱水症状を訴えるランナーが次々と救護ブースへ入ってきました。水分補給で症状が軽減するランナーの方もいれば体中の筋肉がつってしまい続行不能になるランナーの方もみられました。そこで私は救護ブースへ入ったランナーの方達に大会前のコンディションを聞いてみました。するとランナーの方達の返答では「こんなに暑くなるなんて思わなかった」「大会前は水分補給してない」「ウェアが冬用なの」と気候に対しての対策が不十分だったのでは?と思う返答ばかりでした。やはり普段の練習は当然のように必要ですが、今回のようなイレギュラーな気候への対策もこれからのランナーの方達の課題であり、それと同時に我々救護班もそれに対しての対策が必要だと感じました。

各救護場所では疲れた筋へのテーピング、アイシング、ストレッチ、手技療法といった事を行い、捻挫などには包帯・テーピング固定を施したりとランナーの方達をバックアップできたのではないかと思います。主に多かったのは練習不足や準備運動不足での下肢の痙攣・激しい疼痛でした。このようにならない為、ランナーの方達が気持ちよく完走する為にも普段我々が業を通して指導や予防をさせることが重要であると改めて感じました。

私が当マラソンに救護班として参加させていただくのは今回で2度目となりますが、凄く貴重な体験、経験を

させていただいているなと思っております。

院内では経験できない緊張感や慌たしさの中でも求められる的確な判断・処置の大切さ。競技続行が出来るか出来ないかの判断の難しさ。ドクターや看護師との連携。このような経験ができるとともに、何よりも私たちが励みとなるのがランナーの方達からいただく、「ありがとう」「お陰でなんとか走れるよ」「これで完走できそうだよ」の言葉、汗をかいて頑張っているランナーの方達の笑顔は一段と素晴らしいものだと思います。今回の救護を通して得たものを今後の治療に活かし地域の人たちの為に貢献できるよう更に日々精進していきたいと思います。

救護員派遣の近況

4月9日(日)

平成29年度茨城県ママさんバスケットボール春季大会

東海村総合体育館

藤田 博美、荘司智也(水戸支部)

26名の選手にテーピング、ストレッチ等の処置をしました。

4月16日(日)

平成29年度茨城県ママさんバスケットボール春季大会

東海村総合体育館

川又充史、宮田俊一郎(県北支部)

26名の選手にテーピング、アイシング等の処置をしました。

4月16日(日)

第27回かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソン

22.5km地点

八木下雅道、新井誠一、出沼秀樹、高野俊瑞(県南支部)

50名のランナーにストレッチ、テーピング、アイシング等の処置をしました。

32.5km地点

篠崎則男、山田通章、和地勲、廣瀬亮介、竹藤憲司、八重柏佳祐(県南支部)

100名のランナーにストレッチ、テーピング、アイシング等の処置をしました。

35km地点

坂本道彦、渡辺昇平、高橋康敏、原井佳野、倉田裕貴、山本温菜(県南支部)

190名のランナーにストレッチ、テーピング、アイシング等の処置をしました。

5月3日(祝・水)

平成29年度県民総合体育大会兼第72回国民体育大会茨城県選手選考会

茨城県武道館

荘司 智也、石川 貴博(水戸支部)

2名の選手にテーピング等の処置をしました。

■新入会員■



眞中 隆(まなか たかし)

平成1年6月16日生まれ

眞中接骨院 坂東市岩井2234-3

0297-35-7761



大川 勲(おおかわ いさお)

昭和51年1月8日生まれ

大川接骨院 稲敷市江戸崎甲2725-3

029-892-7858

《訃報》

高橋 あい子(たかはし あいこ)

県南支部 高橋猛雄会員の母 3月10死去 81歳

白井 初江(うすい はつえ)

県南支部 白井義博 会員の母 4月7日死去 87歳

青木 アキ(あおき あき)

県南支部 青木勇二郎 会員の母 4月13日死去 94歳

徳田 正義(とくだ まさよし)

県西支部会員 4月17日死去 37歳

福田 幸子様(ふくだ よしこ)

県南支部 福田格 会員の母、紘一会員の祖母

4月22日死去 95歳



救護活動に参加した会員

物理療法機器、介護福祉具
健康機器販売

関東医療商事

〒319-2221 茨城県常陸大宮市八田 1127-5
TEL 0295-53-4211 FAX 0295-53-3383

OA

リサイクル

オフィス家具・複合機

中古品で経費削減、業務用で効率アップ!!

コピー・オフィス家具・ビジネスホン
パソコン・ネットワーク・電話工事
おまかせください!



ショールーム 駐車場完備

OAリサイクル

検索



ただいま組合員様特別価格で ご提供中

つくば店 029-828-7815

水戸店 029-306-7033

印刷のことなら全ておまかせ!

株式会社 タナカ

代表取締役 田中 司 郎

情報メディア営業部 水戸営業所

〒310-0847 水戸市米沢町1-1
TEL 029(247)1810 FAX 029(247)9568
URL <http://www.tanakanet.co.jp>

サービス継続率90%以上!!

月額 **3,000円** (税別) で
ホームページが持てる

ほねべじは接・整骨院専門の
格安ホームページ制作サービスです。
★初期制作費として初回のみ別途30,000円(税別)がかかります。

お問い合わせ・お申込みはこちら

029-828-4055

ほねべじ

検索



運営会社：株式会社保険金支払審査機構 〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2



「生きる」を創る。
Afiac

北関東ファミリー株式会社

0120-48-3376

〒310-0842 茨城県水戸市けやき台2-14-1
FAX 029-248-8522

団体保険は接骨院経営者の基礎となる保険です!

柔道整復師 総合補償制度

総合保険コンサルタント・賛助会員

アームリンク株式会社

代表取締役 小林 和義

TEL 027-255-3233

URL <http://armlink.org>



セキスイハイムが家づくりを
サポートします。

茨城柔道整復師会会員の皆様に

セキスイハイム

お得な3つの特典!

特典1

新築工事
請負契約

建物本体価格の

3%割引

特典2

リフォーム工事
請負契約

50万円以上の
請負に限り、請負価格の

3%割引

特典3

左記以外の
その他の契約

その都度協議の上
特典を決定

お問合せ・資料請求・ご相談・展示場へのご来場予約は

0120-013-816

または 茨城セキスイハイム

検索

茨城セキスイハイム株式会社

〒310-0804 茨城県水戸市白梅 1-7-11

**保険の見直しをしてみませんか？
あなたに『ベストな保険』の
お手伝いをいたします！**



三井住友海上火災保険 ハイグレードエージェント 日本興亜損害保険 特級代理店
三井住友海上あいおい生命 プレミアムパートナーズクラブ NKS Jひまわり生命保険

サンツクバ 株式会社



お問い合わせは

TEL.029-841-5858

サンツクバ

検索

詳しくはホームページをご覧ください。

土浦市中村南 1-2-23 URL <http://www.suntsukuba.com>



**継続サポート
3大疾病保障
保険付プラン**



Play, Support. さあ、支えることを始めよう。



日本生命保険相互会社

2016年度はどうもありがとうございました

〒310-0011

水戸市三の丸1-4-73 水戸三井ビル6F

水戸エイジェンシーオフィス

担当: 高塚、木村、金子

TEL: 029-226-6271 FAX: 029-228-2459



MetLife
メットライフ生命

いい明日へ、ともに進んでゆく。



シアワセを記憶する、ホテル



伊勢屋グループ
水戸プラザホテル Tel.029-305-8111(代表)
〒310-0851 茨城県水戸市千波町2078-1 <http://www.mito-plaza.jp/>

2017年度もどうぞよろしくお願いします

〒310-0011

水戸市三の丸1-4-73 水戸三井ビル6F

水戸エイジェンシーオフィス

担当: 高塚、木村、金子

TEL: 029-226-6271 FAX: 029-228-2459



MetLife
メットライフ生命

いい明日へ、ともに進んでゆく。

TRIO

**信頼のネットワーク
地域密着**

Door to Door

トリオ医科 株式会社

〒300-1216 茨城県牛久市神谷6-6-1

TEL029(873)8553 FAX029(873)8796

東京(営)大田区・北関東(営)館林

導入実績10,000件以上！接骨院・整骨院専用のレセコンなら

三四郎くん

使い勝手の良い操作性はもちろん、療養費改正等の保険改正にすばやく対応。迅速サポートで
ご好評を頂いている「三四郎くん」は、常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。

オプションで
さらに便利！



保険証リーダー



サマールプリンタ



バーコードシステム



**他社からのデータ移動も
お任せ下さい！**



株式会社 エス・エス・ビー

HP <https://www.sanshiro-net.co.jp/home/>

〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2 沼尻産業ビル
TEL 029-839-0346 / FAX 029-838-0874

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース
▶▶ <http://www.jusei-news.com/>

※一部ご希望に添えない場合があります。